

第二〇回配本 姫路市史 第六卷 本編 近現代3

監修 京都大学教授 岡田知弘



夢前川河川プール（『姫路市の教育（昭和42年度版）』）



初期の給食風景（姫路市立余部小学校、1950年頃）
（姫路市立余部小学校『創立100周年記念誌』）



大手前通り（株式会社姫路駅ビル『20年のあゆみ』）



姫路大博覧会正面ゲート（『'66姫路大博覧会誌』）

終戦、戦後復興から高度経済成長へ

戦後三十年の姫路市の歩み

本書は、姫路市史通史編の最終巻です。対象となっている時期は、一九四五（昭和二〇）年の終戦前後から、高度経済成長が終わる一九七五（昭和五〇）年頃までの約三十年間です。

この時代、姫路市の姿も市民の生活も大きく変貌しました。本書では、政治、行財政、商工業、農漁業、市民生活、教育、文化、芸術、社会問題の各ジャンルに目配りしながら、戦後復興から高度経済成長、そしてその終焉に至る姫路の現代史を、豊富な資料、図表や写真も活用して、市民の目線に立つてわかりやすく俯瞰できるように努めました。

戦後復興期を対象とした第一章と第二章では、二度にわたる空襲によって廃墟となった姫路市街地と窮乏化した市民生活の様子、占領軍との交流、そして伝染病流行の実相とともに、市民による復興の息吹を、日記や手記、新聞記事を通してリアルに描いています。また、終戦前後における学校での被災と教育現場の状況、教育制度改革による新制の中小高校、大学の設置過程が資料によって克明に再現されています。さらに、石見元秀市長の下で他都市をリードする形ですめられた戦災復興事業、臨海工業地帯の造成、50メートル道路建設による姫路城観光と商店街や百貨店の復活・形成過程も詳しく述べられています。他方で、阿部知二等による多様な創作活動が花開いた戦後の文芸活動や、東芝争議に代表される活発な労働運動も姫路の特質のひとつであり、味読していただきたい点です。

第三章と第四章は、高度経済成長期からその終焉に至る時期を取り扱っています。姫路市は「大姫路市」構想の下に周辺八町村と合併する一方で、都市開発、生活環境整備、駅南土地区画整理事業を展開しますが、市は財政危機に陥ります。石見元秀市長に代わり吉田豊信市長が誕生する市政の変動、財政危機からの脱出と福祉・環境施策の拡充過程が詳細に描かれています。他方で臨海工業地帯の開発が引き起こした公害問題と公害反対運動の広がり、全国をリードしたPTA義務教育費の負担軽減運動についても特筆すべきものがありました。高度経済成長は、市民生活も大きく変えました。本書では、テレビや自動車の普及、スーパーマーケットの登場にも焦点を当ててみました。さらに、臨海開発による漁業や塩田の衰退、都市化のなかでの小中高等学校・大学の増設と同和教育の展開、「河川プール」の誕生や幻の民放設立運動についても触れています。また、高度成長下での文化・スポーツ活動の高揚も注目に値します。桂米朝師匠の遺稿もコラムとして収録しています。

内 容

第一章 戦災復興期の姫路

- 第一節 廃墟と化した姫路市街地
- 第二節 終戦直後の窮乏と混乱
- 第三節 占領下の大合併と新姫路市の誕生
- 第四節 戦災復興事業の展開
- 第五節 労働運動の昂揚

第二章 戦後の諸改革

- 第一節 新憲法と地方自治制度の改革
- 第二節 税・財政の改革と市民生活
- 第三節 商工業の復興政策
- 第四節 農地改革と農林漁業の発展
- 第五節 教育制度の改革

第三章 高度経済成長と姫路市行財政の拡充

- 第一節 町村合併・大姫路市の成立
- 第二節 姫路市財政の拡大と転換
- 第三節 産業構造の高度化
- 第四節 交通通信機関の発達
- 第五節 学校教育・社会教育の充実

第四章 都市形成と農村の変貌

- 第一節 都市社会の形成と生活様式の変化
- 第二節 教育の拡大と充実
- 第三節 農山漁村の変貌
- 第四節 高度経済成長の終焉

付図がついています。

- ・学校沿革図
- ・戦災復興事業区域概略図
- ・姫路都市計画用途地域図（1954年）
- ・都市計画図（1971年）

発刊記念シンポジウムの開催（予定）

2016年7月9日(土)午後
イーグレひめじ・あいめっせホールにて
執筆者8人によるシンポジウム

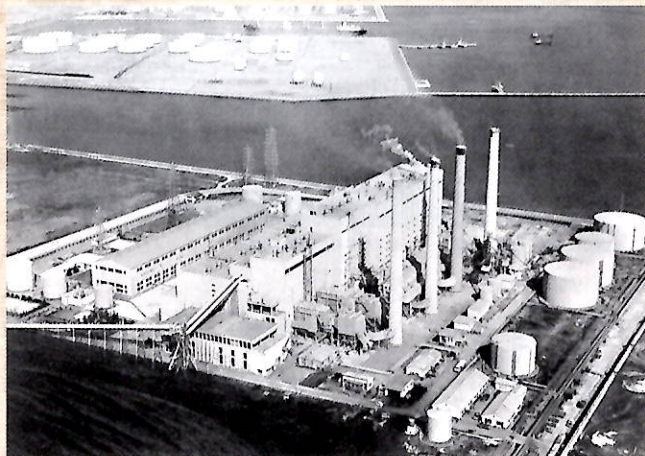
既 刊 案 内

本 編	第一巻 上	自然	
	第一巻 下	考古	
	第二巻	古代・中世	(未刊)
	第三巻	近世1	
	第四巻	近世2	
	第五巻 上	近現代1	
	第五巻 下	近現代2	
	第六巻	近現代3	(今回発刊)

資料編	第七巻 上	自然	
	第七巻 下	考古	
史料編	第八巻	古代・中世1	
	第九巻	中世2	
	第十巻	近世1	
	第十一巻 上	近世2	
	第十一巻 下	近世3	
	第十二巻	近現代1	

史料編	第十三巻 上	近現代2	
	第十三巻 下	近現代3	(未刊)
別 編	第十四巻	姫路城	
	第十五巻 上	民俗編	
	第十五巻 中	文化財編1	
	第十五巻 下	文化財編2	
	第十六巻	年表・索引	(未刊)

発刊当時のチラシにつき未刊と表示されている巻もありますが、姫路市史は全巻（16巻23冊）発刊済です。



関西電力姫路第一発電所（関西電力株式会社提供）



塩田の風景（木庭山から十八反浜方面を望む）
〔「姫路市瀬南部土地区画整理事業完工記念誌」、住田哲雄氏提供〕

購読申込みについて

書 名 姫路市史第六巻 本編近現代3

本の体裁 A5判／上製本／中性高質紙使用
装丁用織物表紙／貼箱入り

頒 価 5,000円 送料500円（一部につき）

頒布方法 〈直接購入の場合〉

次のところで販売しています。
城内図書館 史料整理担当
市政情報センター（市役所1階）
ジュンク堂書店（姫路店）

〈郵送希望の場合〉

●現金書留・郵便為替

下記の住所までご送金ください。

申込先 〒670-0012

姫路市本町68-258（日本城郭研究センター内）

城内図書館 史料整理担当

TEL (079) 289-4886 FAX (079) 289-4891